

(別記様式第 15 号)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

小 諸 市

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	小諸市松くい虫被害防除特殊伐採補助事業
事業費 1,310,000 円 (うち支援金: 1,224,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

先端地域を中心に松くい被害木が確認できる。特に、建物、墓地及び道路付近の赤松が被害に遭っている。

(2) 本事業の目的

(1)の課題への対応方向について記載)

平成 21 年度より当事業を活用することで土地所有者が実施する枯損木の駆除に対して補助制度を設け、市全体の松くい虫防除対策の促進を図ってきた。

令和 3 年度の当事業実績は、件数 46 件、処理本数 119 本、総事業費 477 万円に及び、松くい虫被害の防除対策という事業の目的はもとより、二次被害の防止効果や土地所有者に対する所有地管理意識向上の啓発効果が期待できる。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所：市内全域

(2) 対象者：松くい虫被害による枯損木が存する市内の宅地または墓地等を所有または管理する者。

(3) 実施方法：松くい虫被害木の伐倒処理を業者に委託する費用に対し補助を行った。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

各年度 処理本数 400 本 補助金予算額 4,000,000 円

②令和 4 年度実績

処理本数 120 本 補助金額 1,310,000 円

事業効果

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

松くい被害木の倒木による二次被害防止。

(2) 継続性

松くい被害木が存在する限り、継続する必要性あり。

(3) 普及性

引続き補助事業を継続することで市内の美しい松林景観の造成を図る。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

当事業では、松くい被害枯損木の処理に対して補助制度を設けることで、2月28日時点で46件、119本に及ぶ処理を実施した。このことは、台風シーズンを迎える前に松くい被害木を早期に伐倒処理することにより、倒木による二次的被害を未然に防止する効果が絶大であった。また、土地所有者に対する啓発効果もあり、所有地管理意識向上が図られた。さらには、477万円を超える総事業費が管内の林業事業体にもたらす効果(雇用等)も事業評価の一端である。

(2) 課題

アカマツの多い千曲川以西の地域、東御市境や佐久市境で被害が甚大になっており、市内にも被害地が拡大し、その先端も標高1000m地点に迫っている。被害木が広範囲に広がっているため、全てを駆除することが困難な状況である。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

予算規模は縮小方向となるが、被害木の倒木による二次的被害を未然に防止する効果はもとより、土地所有者に対する所有地管理意識向上の啓発を図る。目的からしても、来年度以降も本事業を継続することで、市内の美しい松林景観の造成に寄与したいと考える。

事業内容を見直して継続する

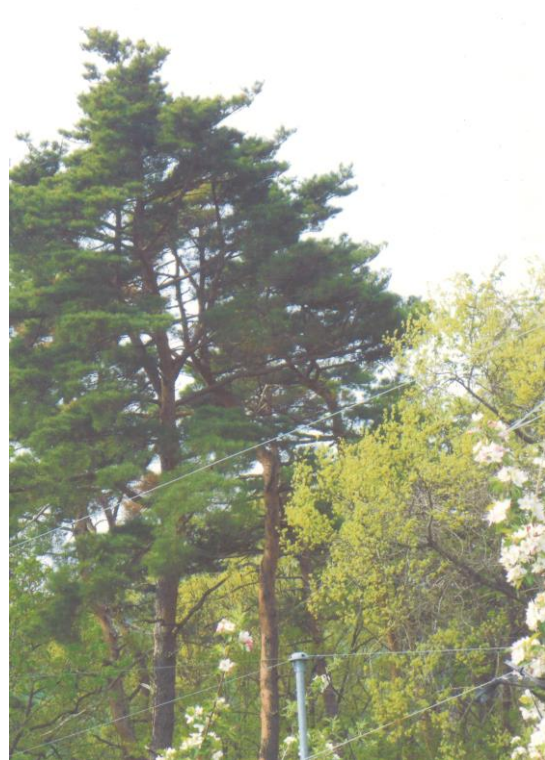
(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



伐採前



伐採後